

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 9 日

事務事業名		「わくわくチャレンジ」推進事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	030301000652
総合計画の施策名		0303 青少年の健全育成			単独/補助	補助	所属課	090601
政策名		03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			主要事業	対象外		生涯学習課
施策名		03 青少年の健全育成			市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		01 青少年活動の充実			未来PJ事業	対象外	グループ	生涯学習G
					合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	10	05	02	00		放課後子ども教室推進事業	
法令根拠					学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
土曜日に地域の子どもの安全・安心な活動拠点の確保をする。さまざまな体験・交流・学習活動を通して、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性の育成する。子どもたちが地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりを推進するために必要な活動をする。	県補助金申請 県研修会参加 コーディネーター (指導員) との連絡調整 活動計画、講師依頼、材料等準備 わくわくチャレンジ参加者募集チラシ作製及び配布 土曜教育推進員、土曜教育サポーターの募集 移動教室に伴うバス使用申請及び同行

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・県補助金申請 ・コーディネーター (指導員) との連絡調整 ・活動計画、講師依頼、材料等準備 ・ボランティア、推進員 (サポーター) の募集 ・移動教室に伴う市バス使用申請及び同行 	実施回数	回	20.00	20.00	20.00	20.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市内小学校1~6年生	市内児童数	人	2,174.00	2,093.00	2,000.00	1,900.00	1,800.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
週末に子どもたちの安全・安心な活動拠点の確保を図り、地域の方々の参画を得て、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	参加延べ児童数	人	307.00	347.00	400.00	475.00	540.00
	参加割合	%	14.12	16.57	20.00	25.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	61	0		0
		県支出金	千円	0	61	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	148	103	385	385	385
	事業費計 (A)	千円	148	225	385	385	385	
人件費	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人	4.00人		
	述へ業務時間	時間	272.30	197.25	197.00	197.00	197.00	
	人件費計 (B)	千円	790	572	571	571	583	
トータルコスト (A) + (B)		千円	938	797	956	956	968	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	07 賃金	104		07 賃金	160	
	08 報償費	65		08 報償費	100	
	09 旅費	4		09 旅費	9	
	11 需用費	21		11 需用費	74	
	19 負担金補助及び交付金	31		19 負担金補助及び交付金	42	
	合計	225		合計	385	

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	「わくわくチャレンジ」推進事業	事務事業No.	30301000652	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 学校週5日制が完全実施されたが、土曜日を必ずしも有意義に過ごせていない子ども達も少なからず存在するとの指摘がある中で、子ども達にとってより豊かで有意義な土曜日を実現するために、桜川市では平成26年度より「わくわくチャレンジ」事業が開始された。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 家庭ではなかなかできない体験を親子でできる機会がもてる。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持 ・27年度より市内の児童を対象とし、参加児童を募集したが、一教室の人数が30人と限られているため人気のある教室はオーバーしてしまう。 同じ内容で回数を増やし実施するよう改善する。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 子ども達が地域の中で安心して健やかに育まれる環境づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県の「土曜日の教育支援体制等構築事業」に則り実施している事業であるため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある まだまだ参加率は低いので、子ども達が求めているような内容を考えることで参加率を上げることができると考える。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土曜日を有意義に過ごしている子どもとそうでない子どもの教育格差が開いてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 桜川市子ども会育成連合会運営事業 等 市内の児童を対象としていることから、連携は可能であると考えます。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 講師謝礼や安全管理員の賃金は最小限で行っており、事業費の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担として、材料費が必要なものに関しては参加者から材料費を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 子ども達の多様な興味関心を高めるような魅力的な内容を計画したい。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下			×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 人気のある教室については、開催する回数を増やし実施するよう改善する。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---